



2018-19年度 No 17 TOTAL 2580 平成31年1月25日	 <h1>券浦ロータリークラブ週幸</h1> 			
RI 会長 : パリー・ラシン	国際ロータリー第2790地区	地区委員	勝浦ロータリー	クラブ会報
ガバナー : 橋岡久太郎	ガバナーノミニ	漆原摂子	会長 : 磯野武	山口桂亨
第6グループガバナー補佐 : 伊藤正人	青少年交換	渡邊昌俊	幹事 : 渡邊昌俊	中村吉政
	地区補助金	吉田理愛	SAA : 中村満	佐久間淳宏
	RYLA	中村吉政		
月間テーマ	職業奉仕月間			

会長挨拶

皆さん、こんにちは。
寒い日が続いていますが、大寒は過ぎました。そして今日は、童謡の「とりのやんせ」や、落語でお馴染みの「初天神」の日ですね。ここまですると、春遠からじ、あと10日もすれば暦のうえでは春となります。もう一息寒さに負けず頑張っていきましょう。
さて、今月のロータリーテーマは、職業奉仕です。今日は、地区にお願いしての卓話となっています。職業奉仕につきましては、昨年の情報研修会でも取り上げられました。
そこで、RIの考え、意向といえますか、これを受けての地区のご説明がありました。その考えがどうもしっくりこないという会員が結構いたように思います。実は私もそのうちの一人ですが、私の場合は理解が浅いという事に尽きます。また、当日お休みされた会員もいらっしゃいますので、今日は全員で今一度職業奉仕について考える有意義な一日にして頂きたいと思っております。
それでは本日もよろしくお願いいたします。



幹事報告

- 1) 会長エレクトセミナーの要綱が、届いております。
- 2) 2018年度米山記念奨学生・終了式及び歓送会のご案内
- 3) 新規奨学生の世話クラブとカウンセラーの引き受けについて お願い
- 4) 2019-20年度会長テーマが発表されました。「ロータリーは世界をつなぐ」

楊浩楠君 奨学金進呈・挨拶

今日は、大学の試験があるので、早く失礼します。
今度は、紹興酒を持ってきます。



委員会報告

ロータリー財団 齋藤豊久君 集金、お願いします
RYLA 中村吉政君 2月3日、4日、岩井海岸に行ってまいります。

ニコニコBOX

本人誕生日			
<p>牧野利美君</p>  <p>メタボになって、いまだになおられません。今のうちに調整しないと、大変になってしまうので、調整します。</p>	<p>漆原摂子君</p>  <p>86歳の母が、急性肺炎で入院していましたが、奇跡のV字回復。12月半ばに退院。元気になって良かった。</p>	<p>吉田理愛君</p>  <p>私の誕生日が1月10日、源のマスターが11日、まとめて誕生日を祝ってくれて、お酒をたくさんいただきました。</p>	<p>鈴木覺三郎君</p>  <p>ひ孫が中心となり、私の寿会を、新宿3丁目で祝ってくれました。QUOカードを順番に配って喜ばれました。</p>
配偶者誕生日		結婚記念日	
<p>小島幸雄君</p>  <p>来年、2人とも90歳になります。お祝いでできるように頑張ります。</p>	<p>秋葉厚子君</p>  <p>2人とも50歳。健康・笑顔で過ごしていきたいです。何十年後も元気でいられる自分になりたいです。</p>	<p>西尾誠君</p>  <p>新年会には、出席できませんでした。女房は、78歳。私は1歳年上ですが、まだまだ元気にやっています。</p>	<p>佐久間淳宏君</p>  <p>結婚して、17年。新年に、親族の挨拶回りをしました。</p>

卓話

地区職業奉仕委員長 千葉若潮ロータリークラブ 鶴沢和広君



2016年規定審議会以降、考え方が変わってきています。RIも変えたい。会員増強の為には変える必要がある。世界中のロータリアン120万人という数字は、横這い。先進国の中では確実に、ロータリアンは減少している。日本は12万人が最高で、今は9万人を割り込んでいる状況。勝浦RCは非常に活発にされていて、会員数が42名、県内クラブ平均を上回っています。最近では、30名半ば位のクラブが一番多いのですが、最盛期には40名以上、50名位のクラブであったと思います。なんと10名の会員が減ってしまった。会員増強は一生懸命なされていると思いますが、継続して会に留まっていただけないところがあります。景気が悪いとか、自分の会社の調子が悪いという話ではなく、ロータリーに面白みを感じない。漆原さんは奉仕をやりたいという強い気持ちがあつて入会されたということですが、多くの方が、奉仕という言葉を考えずに、先輩、友達から「ちょっとロータリーに入らないか。」勝浦RCでしたら「金曜日に、昼飯食べに来ないか。いろんな仲間ができるよ。」という話の中で、クラブ奉仕を中心として入ってこない。その後、社会奉仕、国際奉仕をいろいろと考えていくようになり、実際にクラブとして積極的に奉仕活動がされていないと自分は何の為に入ったんだろう、という疑問を持つと例会の出席率が悪くなり、結果的に退会という事になってしまう。奥さんに、「あなた、ロータリーに入ったけれど、何やっているの?」と聞かれ、胸を張って、俺はこういう事をやっていると言えられないと、「お昼食へ行って。と答え、結構高い例会費を払って、「それだけなの?」というふうに言われてしまう。我々ロータリアンは、「こういう事を常にやっている」という事が言えるようなクラブ奉仕活動を実践していかなくてはなりません。社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕は、対象がはっきりしておりましたが、職業奉仕に関しては、その対象がはっきり述べられ、その内容が、クラブ活動計画書 定款に記載されています。第6条の五大奉仕、職業奉仕のところは3行加えられています。ロータリーの基本は、職業奉仕である。職業奉仕とは、自分の仕事を一生懸命やるんだ。我々ロータリアンは、職業奉仕を重んじている会員の集まりです。いろんな意見が闊達に出される。それは、素晴らしい事。職業奉仕に光をあて、職業奉仕を議論される事は、素晴らしい事。ロータリーは楽しくなければならぬ。会員は、増えていかなければならぬ。昔、ロータリーは、自分達のやっている事をひけらかさずに行き、それがロータリーの姿と言われてきました。時代が変わってきて、自分たちのやっている事をアピールしていかないと、理解されない。ロータリー入会の話をした時、ロータリーはこんなところなんですね、ということが分かってもらえるようにやらないと、なかなか声を掛けて、「ロータリーって何ですか?」と言われてしまう。自分達のやっている事をどんどんアピールしていく。ですから、広報が脚光を浴びています。宣伝をして皆さんに理解していただく。自分なりに、自分の事業を一生懸命にされている。そういう事があって、ロータリーの立場も続けられている訳ですが、自分の会社にロータリーのマークを付けているわけでもなく、胸にバッジは付けていますけれど、「自分の会社はロータリーの間人がやっている会社です」なんて、宣伝しておりませんので、自分の仕事を一生懸命やる事が即ロータリーとは、伝わってこない。やはり、奉仕活動を積極的に行き、それをアピールする事で、ロータリーを皆さんに広めることができるのではないのでしょうか。いろいろな奉仕活動をされていると思いますが、そこに現実的な職業奉仕というものも付け加えて頂きたい。今迄、ロータリーの根幹が職業奉仕であるという考えのもと、自分は仕事に頑張っているのだから職業奉仕をしている、と満足してしまい、他の奉仕活動が疎かになっている方もいるのではないのでしょうか。社会奉仕事業は、クラブの会員皆さんが理解・協力してなされていけばいいのですが、会長・幹事・委員長だけが知っているような社会奉仕事業をされているクラブもあります。社会奉仕事業をやる以上は、クラブ会員の皆さんが理解し、こういう事をやりたい、ああいう事をやりたい、と議論を重ねた上でプロジェクトを実践する。国際奉仕ともなれば、姉妹クラブとのお付き合い、米山カウンセラーの引き受け等、皆さんが認識し、奉仕に対する気持ちが一つになる事により、クラブの活性化に繋がるのではないのでしょうか。新会員さんも、自分が参加しているという喜びを持たれるでしょう。職業奉仕とは何か? 近江商人の考え方「売り手よし、買い手よし」という考え方。皆、一生懸命やって、それが職業奉仕の基本・中心であると語られています。我々職業人として常に心の中において、一丁目一番地として、それを励行していかなければ、会社が続かなくなる。その後「世間よし」という、それをいかに実践していくか、という事だと思います。職業奉仕の考え方は、クラブの皆さんの趣味・人脈・意識、ご家族の持っているもの、そのクラブにあるものを活用してアイデアと汗を出すという奉仕活動を実践して頂きたい。勝浦RCの皆さんは、こんな事をやっているんだ、という事を地元の方々に理解され、次の会員に声を掛けやすくして、色々な事業を手伝って頂き、入会のきっかけとなる。会員の方が持っている自分の職業の知識を、若い人達に教えてあげる事で、その方達がどんな方向に進んでいったらいいか、アドバイスの意味合いを持ちます。今迄は、青少年奉仕として語られていましたが、立派な職業奉仕です。職業奉仕であり、青少年奉仕であると理解して頂くと、職業奉仕は更に飛躍できるでしょう。自分達の持っているものを活用し、地域の為、青少年の為、海外の国際奉仕の為に、色々なアイデアを出し合い、楽しい奉仕活動が出来るのではないのでしょうか。職業奉仕の手引きに、職業奉仕の概念が記載されています。3つの項目。1、職業上の高い倫理基準、2、役立つ仕事は全て価値ある物と認識、3、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにする事。実際に職業奉仕の実践が加わりました。職業奉仕は他の奉仕活動よりも、お金が掛からないかもしれませんが、その分、動いて頂き、汗をかいて頂き、知恵を出して頂く。大先輩方に大号令を掛けて頂いて、若い人達へはつばを掛けて頂く。私は、皆さんが考えていた職業奉仕を否定するものではありません。今迄、社会奉仕、青少年奉仕だと言われてきたものが、実は、職業奉仕であるという事に、気づいて頂いて、そういう奉仕活動をどんどん行って頂き、職業奉仕というものを、強く語って頂きたいです。それが、クラブの活性化に繋がっていくことになり、そういうお願いでございます。

出席報告	次回例会	例会日	毎週 金曜日
会員数 42名	2/1 卓話例会	例会場	東急ハーヴェストクラブ勝浦
出席者 32名	2/8 卓話例会	事務局	勝浦市中島590-9 電話 0470-76-0199
MU 7名	2/15 振替休日		勝浦市興津久保山台3-6 渡邊昌俊 方
欠席者 3名	2/22 移動例会		電話・FAX 0470-62-6186
出席率 93%	3/1 卓話例会		http://www.katsuura-rc/index.html